

文化の家のこれまで

長久手市文化の家は、令和7年1月に改修工事のため、いったん閉館しますが、これを機会に改めて文化の家のことを振り返ってみようと思います。 長久手市暮らし文化部 生涯学習課 石野 俊匡

閉館したのは平成10年(1998年)7月15日。こけら落とし公演の「三番叟」と「大下久見子&セントラル愛知交響楽団」のコンサートで幕を開けました。

森のホールは開館当初最大八一九席の客席可変型ホールで、舞台の左右と前方合わせておよそ四〇〇席ほどが、十三のブロックに分かれて反転するなどして客席と舞台面に変えることが可能であるという、世界でもまれに見る構造を持ったホールとして誕生しました。この機構により、舞台面を最大に広げた平土間形式で社交ダンスが行われたり、オーケストラピットを設置してオペラを上演したり、多岐にわたる催しが行われています。舞台・客席の組み合わせパターンは一〇以上に上り、演出の意図に合わせて様々な会場を作ることが出来ます。後の改修で客席数は最大七一七席となりました(車イス席含む)。

森



「おんぱくフィナーレ」



コンサート形式



平土間形式

風



「劇王舞台」

風のホールは開館当初最大三〇二席。客席前方が迫りになっており、舞台を前方に張り出したり、オーケストラピットとしての使用も可能な作りになっています。演劇の公演にも適しており、舞台上の音が客席の後ろまでよく通ります。特徴的なのは、舞台上に反響板を持たず、緞帳のすぐ後に音響反射板を備え、張り出し舞台の部分のみを使用して室内楽など小編成のクラシック音楽に対応する構造となっていることです。この時客席数は約二〇〇席。ピアノ発表会や、小規模の演奏会などで使われています。こちらは改修工事で最大二九八席になりました。

光

光のホールは階段状の席を備えた八十二人収容のホールです。二〇〇インチのスクリーンと小さな舞台があり、座席には小さなテーブルが備えてあります。映像芸術鑑賞、シンポジウムなどに適しています。(二面に続く)



本舞台



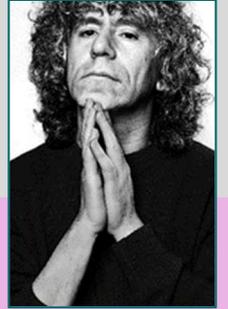
前舞台



多彩な部屋を備えた アートリビング棟

(二面より)

また、ホールだけではなく、舞踊室や音楽室、食文化室など日頃の練習や会議などに使用出来る多彩な部屋を備えたアートリビング棟があることも特徴と言えます。大きな市民会館などは、アーティストの公演や知人の出演する発表会など年に数回、あるいは数年に一回ぐらいしか訪れない、ということもままありますが、日常的に文化の家に来て文化に触れる機会を多くしようという意図があります。フレンズの会員の方の中には、日頃から慣れ親しんだ施設でチラシを手に取り、今まで知らなくても興味を惹かれ初めてのアーティストの公演を見る、といった経験を持つ方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



ギャラリーとアトリウム

この二つの棟の間にはギャラリーと名付けられた大きな通路スペースがあります。中央にはアトリウム(吹き抜け)があり、アートリビング棟とホール棟を結ぶブリッジが掛けられています。ここでは、無料で楽しめるコンサートやマルシェなどが不定期に開催され、物理的にふたつの建物を繋ぐだけではなく、日常(ケ)と特別な日(ハレ)を融合させる役割も持っています。



自主事業について

文化の家のソフト面での特徴は、自主事業を積極的に行っていることです。これまでにクラシック音楽ではオーボエ奏者で指揮者のハイネツ・ホリガーや、チェリストのステイーヴン・イツサーリス、佐渡裕指揮の兵庫芸術文化センター管弦楽団、ヴァイオリンのパトリツィア・コパチンスカヤなど世界的名演奏家が公演を行っており、ケルト音楽の大御所ザ・チーフタンズや、ジャズでは秋吉敏子、渡辺香津美など、落語では柳家小さん、桂米朝の東西の人間国宝やまだ若手時代の林家たい平、柳家喬太郎などの公演を行いました。

他にも、「おんぱく」などのオリジナルの企画も行っています。そこには、開館時から行っている創造スタッフという制度も大きく貢献しています。契約した若手アーティストによる展示や演奏、今年毎年恒例となっている「創造スタッフ劇場」など、発表、活動の場を提供するとともに、学校や福祉施設への出張演奏なども積極的に行っています。

今回の工事は、主に耐震対策としてホールのホワイエや客席の天井とギャラリーの天井を張り替える工事が主で、見た目にはあまり変化が感じられないかも知れませんが、安全性をより高めるために行うものです。再開後にまた皆さんの笑顔に会えることを楽しみにしています。





うたごえフレンズ 光のホールに 歌声が響く



マスクの中は笑顔です。



キーボード 本山ひふみさん



司会 水野さん スライド 北村さん

去る11月7日(木)文化の家光のホールにて「うたごえフレンズ」が開催されました。恒例の「幸せなら手をたたこう」から始まり、秋にちなんだ「里の秋」「もみじ」や懐かしい昭和の歌謡曲「蒼い星くず」「秋桜」など15曲を、途中リラックスタイムを挟みながら歌いました。この日は男性も8名参加し、「昴」のときは男性陣の朗々と歌う声が聞こえてきました。曲の合間に、歌詞の意

味やエピソードが紹介されると、今は失われつつある美しい日本語や、美しい自然が描写され、優しい心が込められていることに改めて気付かされます。最後は西田敏行さんを偲んで「もしもピアノを弾けたなら」を歌い閉会となりました。歌うことにより脳内の幸せホルモンが分泌されるといいます。参加できない方も家事などをしながら、好きだった歌を思い出して歌いましょう。

1月はお休み
2月7日(金) ← お間違いなく
福祉の家 集会室 午前10時から
3月6日(木)
福祉の家 集会室 午前10時から
※文化の家工事中も福祉の家で開催する予定です。



フレンズ クリスマスコンサート

フレンズ恒例のクリスマスコンサートが、12月18日(水)に文化の家森のホールで開催され、130名余りのお客さまをお迎えしました。

今回は前半、クラシックバンドの「LOVE KNOW」がヴァイオリンとピアノで「エルダー/愛のあいさつ」「パガニーニ/カンタービレ」そして「クライスラー/アレグロ」と名曲を演奏し、会場は美しいメロディーに包まれました。

後半は休憩を挟んで「Are you ready?!…」で始まる「学園天国」にパーカッションも加わり森のホールはライブ会場に早変わり、大勢の観客の手拍子が会場を盛り上げました。

そして途中、ヴァイオリンの山部里恵さん、バンドネオンの金子マイトさんがゲストで突然登場！またまた会場は手拍子や掛け声でいっぱいになり、演奏も最高潮になりました。

オリジナル曲に加え、「ベートーヴェン、ドボルザークの第九」や「TSUKEMENのhappyキッチン/BASARA/KYOSAKU」「葉加瀬太郎の博士ちゃん/情熱大陸」などは、さまざまなアレンジの変化に富んだ演奏で観客を楽しませました。

フィナーレは「きよこの夜」と「オー・シャンゼリゼ」をメンバーが歌いながら会場を周り、笑顔の中クリスマスライブは幕を閉じました。

- ☆ いろいろな楽器のコラボが楽しかった。
- ☆ ひと足早いクリスマスを堪能しました。
- ☆ 知っている曲が違うアレンジをしていて面白かったです。
- ☆ 普段ヴァイオリンを聴く機会がないので、生演奏が聴けて良かった。

LOVE KNOW

熱演するメンバー ヴァイオリン 福田勝太
ピアノ 大竹かな子 パーカッション 鈴木豊大
ゲスト ヴァイオリン 山部里恵 バンドネオン 金子マイト





「トラブルシューティング」の話



長久手市暮らし文化部 生涯学習課 石野 俊匡

「トラブルシューティング」というのは、故障など何かトラブルがあった場合に、それを解決する、あるいは何か他の方法を使って目的を達成出来るようにすることを言います。

■ まずは現状の見極めが大切

日常生活でも、何か壊れたり、調子悪かったり、忘れ物しちやったりなどいろいろなトラブルがありますが、長年劇場の仕事に携わっていると様々なトラブルに遭遇します。よくあるのが、音が出ない、映像が出ないなどの機械的トラブル。そんな時は、まず現状の見極めから始めます。今現在どんな状況なのか、対処する時間はどれくらいあるのか、後回しに出来るのか、などなど。時間に余裕があり、故障に対処することになった場合、今度は原因を探ります。いろいろな機材が繋がっている場合、地図上の道を出発点から順番にた

ほっと
すぱーす

「断捨離とDNA」

長久手市在住 ピアノ廿子



5月末に癌と闘い旅立った母の遺品の整理を含めた断捨離を始めた。

箆箆や押入れから手仕事得意だった母の作品がまるで分身のように次々と出てきた。10歳で母親を亡くした私の私への思い入れは人並み以上のものがあり、遺されていた給食袋やお道具入れに自分ももらえなかった愛情を代わりに注いだのだろうと想像すると、当時を思い出し作業の手が止まる。

衣類、食器などたくさん処分したけれど、細かく書き込みをした編み物、和

裁教室のテキストや編棒のセットは迷わず母が生きた証として残すことにする。

手仕事には疎い娘の私も断捨離がきっかけでミシンをかけた。いつも耳にしていたミシンのリズムが私の中に生きているのか、初心者の割に進んでいく。

DNAなのかな？と嬉しい思いで今は糸から紡いで縫い上げてあった着物を洋服にリメイクすべく、ミシンと仲良くしている。

母さん、
ありがとうございました。

■ 原因の一番は人間のミス

どるように、信号の上流からたどっていきます。大体の場合合はここで原因が分かります。故障と思われる機器をスピアのものに置き換えるなどして完了です。ここでスペアがない場合や原因が把握できない場合は、他のもので対処出来る方法を考えます。ドライブ中に通行止めに遭遇して別ルートを探すようなものですね。トラブルの原因としては、

■ 失敗は、明日の成功への糧

一番多いのが人間の起こしたミス。コードのつなぎ間違えや設定のミスは日常茶飯事です。でも、そうやってミスに対処していくことでトラブルシューティングに強くなるのです。失敗を重ね経験を積み積むほどトラブルに冷静に、素早く対処出来るようになります。失敗は、明日の成功への糧です。ちなみに私は、トラブルシューティングが得意です。

ひとりごと

『猫のエース』くんは交通事故で後ろ脚が壊れし殺処分直前に保護された。今は里親さんのもと、前脚だけで元気に走り回りいつも、まんまるお目目が輝いている。私も、失った物に心をとられずこの子のようにいつも目を輝かせて生きていきたいものだ。

み